

教職大学院紹介

高度専門職を育てる

教職大学院とは？



高度な実践的指導力を備えた教員を養成するための専門職大学院です。全国的には平成20年から開設され、現在ではすべての都道府県に設置されています。秋田大学では平成28年に設置し、今年6年目を迎えます。

教職大学院で得られる資格

- 教職修士（専門職）** ⇒ 秋田大学から修士の学位が与えられます
- 専修免許状** ⇒ 一種免許状の上級免許状が与えられます

多くの都道府県で優遇措置が充実！

秋田県では次のような優遇措置があります！

□ 教員採用試験1次試験で優遇

大学院2年次、第一次選考試験の「総合教養」が免除。
この優遇措置は、修了後は2年間継続！

□ 名簿登載期間延長

採用試験合格者は、教職大学院修了まで2年間有効

□ 採用後は、初任者研修を軽減

レポート課題等も少なく、一人前の教員としてバリバリ活躍

初任給（新卒の場合）R2の実績

	小・中学校	高等学校 特別支援学校
修士課程修了	236,396	236,396
大学卒	214,322	214,322
短大卒	188,583	185,860

初任給には、給料月額+教職調整額+教員特別手当を含んでいます。
※通勤手当、不要得権、住居手当等がそれぞれの条件に応じて支給されます。
※6月および12月末に期末・勤勉手当が支給されます。

秋田大学でも優遇措置を用意！

★ 教員採用試験合格した入学者へ奨学金！ (入学金相当 282,000円 を給付)

- 実習等の交通費補助(公的交通機関)
- 学会での発表等に経済的支援
- 6年コース院生へのインセンティブ
(4年次から履修可能、入学金半額免除)
- 教職チャレンジ制度・長期履修制度の整備



教職大学院で何を学ぶの？

学校マネジメント・
協働力

カリキュラム・
授業デザイン力

成長発達
サポート力

- **教育実践力を高める**
… 長期の実習で、授業力・生徒指導力を高めます
- **学部時代よりも、理論を深く学ぶ**
… 共通科目で上の3つの力を身に付けます
コース科目で、専門性さらに高めます
- **理論と実践を往還する**
… 毎週、指導教員とリフレクションを行います

～理論と実践の融合を目指して～



全国トップレベルの学力を支えている
秋田の学校現場が、学びのフィールド

令和4年度の教員採用試験と教職大学院入試

秋田県の教員採用試験

5月11～28日 出願受付期間
原則として電子申請による受付
志願書以外の書類は郵送

7月17～18日 第一次選考試験

9月11～13日 第二次選考試験

⇒名簿登載延長の優遇措置を考えている人は、
「教職大学院進学希望」としておきましょう！
合格後に選択の幅が広がります！

「教職大学院進学希望」だからといって不利になることは一切ありません。県教委は、むしろ大学院で学ぼうとする意欲を尊重しています。

教職大学院の説明会&入試計画

7月上旬 大学院説明会

9月下旬 大学院Ⅰ期入試

11月上旬 大学院説明会

12月下旬 大学院Ⅱ期入試

先輩から … 教職大学院の魅力・選んだ理由

遠藤史都さん
(6年一貫コース修了し、宮城県小学校で教員)



教職大学院では、一単元の授業をつくるのに一年間をかけて考えることができます。しかも、身の回りには教師を本気で目指す学友がいて、豊富な経験と知識をもった現職の先生や教授がいらっしゃいます。教師を目指すうえで教職大学院ほど恵まれた環境はないでしょう。

伊藤真里奈さん
(2年、教育実践コースから、秋田県小学校合格)



2年後私は小学校教員として地元秋田に貢献します。その際、即戦力になれるよう学部生時代よりも教職における専門的知識をさらに深め、高度な授業力を身に付けたいと考え教職大学院を目指しました。現状に満足せず、学び続ける姿勢をもってこれからも勉学に励んでまいりますので、共に高め合える後輩の皆さんをお待ちしています。

工藤唯花さん
(2年、こども発達コースから、青森県小学校合格)



私が教職大学院を目指し始めたのは、4年の春頃です。3年次の終り頃から、より真剣に教育者となることについて考えるようになりました。今のままでは、知識も経験も、教育者としての考え方も未熟であると感じ、「理論と実践の往還」を重視する教職大学院でさらに学び、研究したいと思うようになりました。

高橋 海渡さん
(2年、理数教育コースから、秋田県小学校合格)



私は、自分の視野を広げたいと思い教職大学院を目指しました。教職大学院では経験豊富な現職教員の多様な意見を取り入れつつ、自らの学びを深めることができます。理論と実践の往還を通して「教師力」磨いてみませんか？

教 職 大 学 院 に 興 味 が あ る 人 ！

教職大学院の授業に参加してみよう！

○「秋田の授業力の継承と発展」をはじめとして、いくつかの授業を公開する予定です。今年は、遠隔授業ですが、是非参加してみてください。

先生や院生に相談してみよう！

○まずは、卒論の指導教員に相談することです。
○教職高度化センターの先生方や4号館1階の院生室も訪れてみましょう。